

平成29年11月

第44回（平成30年度）

岩谷国際留学生奨学助成募集要項

岩谷国際留学生奨学助成は、岩谷産業株式会社からの寄附金および当財団の基本財産運用果実により実施するものであり、海外から来日している私費留学生で、将来わが国と親密な関係を保ち、親善・交流の実を期待しうる人材にその機会を提供し留学生生活を援助することにより、国際間の相互協力と理解を深め、双方の国民生活向上に寄与することを目的とします。

1. 応募資格

応募者は、学業成績が優秀であって、留学生活上経済的援助を必要とし、次の全ての条件に該当する者とします。

- (1) 日本以外の国籍を有し、東アジア・東南アジアの国・地域（詳細は「6. その他（1）」を参照）から修学または研究のために来日している私費留学生
- (2) 大学院の修士課程および博士課程の在籍者、または入学決定者並びに博士課程3年終了者で博士学位取得のための継続在籍者
- (3) 自然科学系および関連する学際分野（詳細は「6. その他（2）」を参照）を専攻している者
- (4) 平成30年4月1日時点の年齢が修士課程は満30歳未満、博士課程は満35歳未満の者
- (5) 平成30年4月以降、他からの奨学金を受けない者
- (6) 年5回開催する奨学生例会（うち1回は2泊3日の研修旅行）に参加できる者
- (7) 奨学金支給終了後も当財団と通信等を継続する意志のある者
- (8) 国際交流と親善に貢献しうる者
- (9) 日本語で日常の会話ができる者

2. 助成の内容

(1) 採択者数と奨学金

採択者数は15人とし、奨学金は1人当月額15万円。

別途、例会出席および学会発表のための旅費などを補助します。

(2) 支給期間

奨学金の支給期間は原則として1年間。

(3) 奨学金の停止

次のような場合は奨学金を打ち切ります。特に④および⑤の場合、次年度より奨学生の在籍校を応募対象から除外することがあります。

- ①病気などの事由により、修学または研究を継続する見込みのない者
- ②2ヶ月以上音信がない者
- ③正当な理由なく例会を欠席した者
- ④素行不良、その他当財団の名誉を傷つけた者
- ⑤略歴、身上など本人の申告事項に虚偽の事実が判明した者

3. 応募方法

(1) 提出書類

応募者は次の書類を作成または用意して当財団宛に提出してください。

様式1～5の書類は、当財団ホームページからダウンロードが可能です。

①申込書(様式1)

写真(上半身近影: 5.0×3.5cm)の裏面に記名し、枠内に貼付してください。

②経歴書(様式2)

③身上書(様式3)

④研究計画書(様式4)

⑤指導教官の推薦状(様式5)

指導教官が応募者の研究能力、研究への取り組み姿勢、学位取得・修了の見込みおよび将来性、人物像、日本語の語学力、等を記入してください。

推薦状を入れる封筒は「親展」とし、指導教官により密封されたもの(応募者本人の閲覧不可)。

平成30年4月に大学院に進学・編入学する学生は、進学前の指導教官による推薦状も可とします。

⑥在学証明書

入学予定の留学生は、当該大学の入学許可証または合格通知書(コピー可)

⑦成績証明書

日本の大学および大学院の成績証明書(原本)、無い場合は母国のもの(コピー可)

⑧健康診断書

平成29年4月以降の健康診断書(項目:胸部X線、血圧、視力、身長、体重など)、または大学の保健センター等が発行する「健康診断証明書」

⑨合否通知用返信封筒

定型封筒（235×105mm以内）に応募者の郵便番号、住所および氏名を記入し、82円切手を貼付してください。

※様式1～5記入上の注意

書類は日本語で記入してください。（但し、言語を指定した箇所を除く。）

書類不備（各様式の記入不備、添付書類の不足・不備等）は、失格となることがありますので、送付前に十分確認してください。

<様式1>について

①様式1は、黒インク、または黒ボールペンを用いて**必ず自筆で記入**してください。本人以外の代筆は認めません。

②様式1の「応募時の奨学金受給状況」および「他の奨学金への応募状況」は、必ず記入してください。応募していない場合は、「無し」と記入してください。

<様式2～5>について

①様式2～5は、応募時点の内容を記入してください。

②様式2～5は、自筆ではなく、パソコン入力も可能です。

(2) 募集期間

平成29年12月1日（金）～平成29年12月20日（水）

※平成29年12月20日（水）当日の消印まで有効

(3) 応募書類提出先

公益財団法人 岩谷直治記念財団 事務局

住所：〒104-0028

東京都中央区八重洲2-4-11 八重洲h+ビル3階

なお、提出された書類等は返却しません。

4. 選考方法

選考は下記要領で行います。

(1) 書類選考： 第一次選考として書類上の審査を行います。

書類選考の結果は、平成30年1月下旬に文書で通知します。

(2) 面接選考 : 書類選考合格者に対して、平成30年2月中旬に面接選考を行います。使用言語は日本語です。

面接により内定者、補欠者および不合格者を選考し、その結果を平成30年2月下旬に文書で通知します。

5. 採否の通知

最終的な採否については、面接選考の内定者、補欠者に対して平成30年3月中旬に文書で通知します。

6. その他

(1) 対象の国・地域

応募資格に該当する東アジア・東南アジアの国・地域は、以下の通りです。

(国・地域名は略称)

①東アジア：中国、韓国、モンゴル、台湾

②東南アジア：カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム

(2) 専攻分野

応募資格に該当する自然科学系および関連する学際分野は、以下の範囲とします。

①工学、理学および農学の全般

②医学部の一部（分子病態学、公衆衛生学のみ）

③薬学部の一部（分子微生物学のみ）

(3) 問合せ先

公益財団法人 岩谷直治記念財団

住所 : 〒104-0028

東京都中央区八重洲2-4-11 八重洲h+ビル3階

電話 : 03-6225-2400

FAX : 03-3231-7070

担当 : 常務理事・事務局長 芳賀 実

E-mail : haga@iwatani.co.jp (芳賀 実)

information@iwatani-foundation.or.jp

URL : <http://www.iwatani-foundation.or.jp/>

以上

※この様式1は黒色のペンを使用し、手書きの日本語で記入して下さい。(鉛筆は不可)
※本人以外の代筆は認めません。

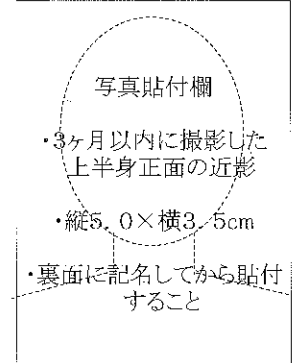
様式1

第44回(平成30年度)
**岩谷国際留学生奨学助成
申 込 書**

平成 29 年 12 月 日

公益財団法人 岩谷直治記念財団 御中

「第44回(平成30年度)岩谷国際留学生奨学助成募集要項」に従い、
奨学金を受けたく申し込みます。
申込書および添付書類等の記載内容は、事実と相違ありません。



氏名
(母国語表記)

氏名
(英字表記)

氏名
(カタカナ)

性別 男 ・ 女

国・地域名

生年月日

年

月

日

歳

携帯電話

E-mail

配偶者 有 ・ 無

現住所

〒 住所

(最寄駅)

線

駅 (駅から自宅まで、バス / 徒歩で

分)

平成29年12月(応募時)に在籍中の大学・大学院
(学部生はこちら↓に記入)

(入学年月 : 年 月)

大学

学部

科

年

(大学院生はこちら↓に記入)

(どちらかに○印↓)

大学.....

院

専攻

修士課程 (博士前期)

年

科

博士課程 (博士後期)

平成30年4月(来春)以降の在籍予定

私は、(下記大学院に合格済)/(下記課程に進学予定)です(○印)

大学.....

院

専攻

修士課程 (博士前期)

年

科

博士課程 (博士後期)

大学所在地 〒

住所

電話

指導教官 役職

氏名

研究室名

内線

平成29年12月(応募時)の奨学金 受給状況について (受給していない場合は、「無し」と記入して下さい。)

奨学団体名

受給期間

年

月

～

年

月

他の奨学金への応募状況について (予定も含め記入。他の団体に応募していない場合は、「無し」と記入して下さい。)

奨学団体名

日本語による会話能力の自己評価について (あてはまるレベルに○印を付けて下さい。)

poor ←----- 日常会話可 -----> excellent

1

2

3

4

5

署名
(母国語でサイン)

※この様式2はパソコン入力も可能ですが、書式は変更しないで下さい。

様式2

経 歴 書

平成 29 年 月 日 現在

氏 名 _____

来日した年 年 月

(日本での滞在年月 年 月)

1. 学 歴 (高校から現在までの学歴を記入)

学校区分	学校名・所在地(国・都市名) (例) ○○○○高校 (例) 中国 大連市	入学・卒業年月	専攻科目	取得学位 又は資格
高校	学校名	入学 年 月		
	所在地	卒業 年 月		
高等専門 学校	学校名	入学 年 月		
	所在地	卒業 年 月		
日本語 語学学校等	学校名	入学 年 月		
	所在地	卒業 年 月		
大学	学校名	入学 年 月		
	所在地	卒業 年 月		
大学院 修士課程 (博士前期)	学校名	入学 年 月		
	所在地	修了 年 月		
大学院 博士課程 (博士後期)	学校名	入学 年 月		
	所在地	修了 年 月		
備考: 補足説明等があれば、記入して下さい。				

2. 職 歴 (学業と並行したアルバイトの職歴は記入不要)

	勤務先・所在地(国・都市名) (例) ○○○○株式会社 (例) 日本 大阪市	勤務期間	勤務内容	役職名
1	勤務先	年 月 ～ 年 月		
	所在地			
2	勤務先	年 月 ～ 年 月		
	所在地			
備考: 補足説明等があれば、記入して下さい。				

※この様式3はパソコン入力も可能ですが、書式は変更しないで下さい。

様式3

身 上 書

平成 29 年 月 日 現在

氏 名

母国住所(帰省先)

1. 経済状況

最近1年間の収入額と支出額を平均し、1ヶ月相当分を記入して下さい。

1) 1ヶ月の平均収入額

(該当するものに○印↓)

- | | | |
|-------------|-----|---------------------------------|
| ① 家族からの仕送り | 円/月 | 送金者 : 父親 / 母親 / その他(記入): |
| ② 奨学金(本人) | 円/月 | 名 称 : |
| ③ 給与(アルバイト) | 円/月 | 内 容 : RA / TA / その他(記入): |
| ④ 自分の預貯金を使用 | 円/月 | |
| ⑤ その他 | 円/月 | 内 容 : 配偶者給与 / 配偶者奨学金 / 借金 / その他 |
| 収入額合計 (a) | 円/月 | 上記の詳細(記入): |

2) 1ヶ月の平均支出額

(該当するものに○印↓)

- | | | |
|---------------|-----|---------------------------------|
| ① 家賃 | 円/月 | 住 居 : 学生寮 / アパート / その他: |
| ② 学費(自分が払う金額) | 円/月 | 学費免除: 全額免除 / 一部免除 / 免除なし |
| | | 免除期間: 年 月 ~ 年 月 |
| ③ 食費 | 円/月 | |
| ④ その他生活費 | 円/月 | 生 活 費 : 電気・ガス・水道・携帯・交通費・図書費等の合計 |
| 支出額合計 (b) | 円/月 | |

3) 収支差額 (a-b) 円/月

2. 家族状況

(両親・兄弟姉妹を記入して下さい。既婚者は配偶者・子女も記入して下さい。)

続柄	家族の氏名	年齢	現住所(国・都市名)	職業名(学生は学校名)

3. 特記事項

(収入の減少予定、支出の増加予定、宗教上の制約等、伝えておきたいことがあれば記入して下さい。)

※この様式4はパソコン入力も可能です。

様式4

※各項目の行数、フォント等は必要に応じて変更できますが、枚数は A4サイズ縦で2枚以内 とします。

研究計画書

平成 29 年 月 日 現在

氏名 _____

1. あなたの研究課題について、簡潔に説明して下さい。

2. 今後1～2年間の研究計画と、目標とする研究成果について説明して下さい。

(1年目)

(2年目)

3. あなたが発表した論文を全て記載して下さい。(査読付き(refereed)の場合はその旨を記入)

4. 学位を取得した後は、どのような進路を予定していますか？(修士の場合、進学の場合は？)

5. あなたは今後、母国と日本との交流に、どのように関わっていきたいと考えていますか？

6. その他(意見、感想など)

推薦教官各位：1. 推薦教官ご自身でご記入いただき、捺印・厳封の上、「親展」にて応募者経山でご提出下さい。 様式5

2. 全ての質問項目を満たしていれば、書式を変更しても結構です。他言語の場合は和訳を添付して下さい。

推 薦 状

作成日 年 月 日

応募者の所属：

氏名：

私は上記の学生を貴財団の奨学助成対象者として以下の通り推薦いたします。

1. 研究能力について

2. 研究への取り組み姿勢について

3. 学位取得・修了の見込み及び将来性について

4. 人物像について

5. 日本語の語学力について(当財団でのコミュニケーション言語は日本語です)

6. その他、特記事項

推薦教官のご所属(大学・高専名/研究科名/学科名)

お役職

お名前

印

連絡先住所

電話番号

(内線)

E-mail

※応募者本人の進学等の事情により入学先での指導期間が短い場合は、従前の指導教官による推薦を認めます。

※指導教官には連絡を取らせていただく場合がございます。連絡先のご記入漏れが無いようにお願いいたします。